

#2
JC974 U.S. PRO
09/893903
06/29/01

Attorney Docket No. 1466.1040

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Hiroyuki IRIE et al.

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: June 29, 2001

Examiner:

For: COMMUNICATION SYSTEM, INFORMATION AGENT METHOD AND RECORDING MEDIUM

SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN APPLICATION IN ACCORDANCE WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-026612

Filed: February 2, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: June 29, 2001

By:


H. J. Staas
Registration No. 22,010700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

©2001 Staas & Halsey LLP

日本特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

JC974 U.S. PRO
09/893903
06/29/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application:

2001年 2月 2日

出願番号
Application Number:

特願2001-026612

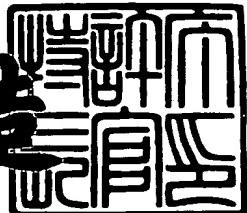
出願人
Applicant(s):

富士通株式会社

2001年 4月 20日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3033336

【書類名】 特許願
【整理番号】 0090176
【提出日】 平成13年 2月 2日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 17/40
【発明の名称】 通信システムおよび情報仲介方法並びに記録媒体
【請求項の数】 5
【発明者】
【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
株式会社内
【氏名】 入江 寛幸
【発明者】
【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
株式会社内
【氏名】 西田 隆司
【発明者】
【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
株式会社内
【氏名】 加本 貴幸
【特許出願人】
【識別番号】 000005223
【氏名又は名称】 富士通株式会社
【代理人】
【識別番号】 100086933
【弁理士】
【氏名又は名称】 久保 幸雄
【電話番号】 06-6304-1590
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 010995

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9704487

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 通信システムおよび情報仲介方法並びに記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネットワークによって互いに接続された複数のサイト間で情報のやり取りを行う通信システムであって、

第一のサイトには、

ネットワーク上の端末装置のユーザに対して検査を行うための検査手段と、

前記ユーザに関する個人情報および前記検査手段による検査結果を識別キーとともに記憶する記憶手段と、

前記検査結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、
前記個人情報および前記検査結果を第二のサイトに送信する第二の送信手段と
が設けられ、

前記第二のサイトには、

前記ユーザから前記識別キーを受信する識別キー受信手段と、

前記識別キー受信手段が受信した前記識別キーを前記第一のサイトに送信する
識別キー送信手段と、

前記第一のサイトに送信した前記識別キーに対応する前記個人情報および前記
検査結果を前記第一のサイトから受信するユーザ情報受信手段と、が設けられ、

前記第二の送信手段は、前記第二のサイトが示した前記識別キーに対応する前
記個人情報および前記検査結果を送信する、

ことを特徴とする通信システム。

【請求項2】

ネットワークによって互いに接続された複数のサイト間で情報のやり取りを行う通信システムであって、

第一のサイトには、

ネットワーク上の端末装置のユーザに関する個人情報を識別キーとともに記憶
する記憶手段と、

前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、

前記個人情報を第二のサイトに送信する第二の送信手段と、が設けられ、

前記第二のサイトには、

前記ユーザに対して行った検査の結果を前記第一のサイトに送信する結果送信手段と、

前記ユーザから前記識別キーを受信する識別キー受信手段と、

前記識別キー受信手段が受信した前記識別キーを前記第一のサイトに送信する識別キー送信手段と、

前記第一のサイトに送信した前記識別キーに対応する前記個人情報を前記第一のサイトから受信するユーザ情報受信手段と、が設けられ、

前記記憶手段は、前記第二のサイトから受信した前記検査の結果を前記識別キーとともに記憶し、

前記第一の送信手段は、前記識別キーに対応する前記検査の結果を送信する、ことを特徴とする通信システム。

【請求項3】

ネットワークに接続可能な端末装置のユーザに情報を与える情報提供サイトに用いられるサーバであって、

前記ユーザに対して検査を行うための検査手段と、

前記ユーザに関する個人情報および前記検査手段による検査結果を識別キーとともに記憶する記憶手段と、

前記検査結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、

前記個人情報および前記検査結果を他のサイトに送信する第二の送信手段と、を有し、

前記識別キーは、前記個人情報のうち前記他のサイトに開示してもよい項目に関する開示可能情報を有し、

前記第二の送信手段は、前記個人情報のうち前記開示可能情報に対応する項目のみを送信する、

ことを特徴とする情報提供サイトに用いられるサーバ。

【請求項4】

商品または役務の需要者と前記需要者に前記商品または役務を提供する提供者

との間における情報のやり取りを、コンピュータおよびネットワークを用いて仲介する、情報仲介方法であって、

前記需要者に関する個人情報を記憶し、

前記需要者に対して行った前記商品または役務の提供のための検査の結果を求め、

前記結果情報と前記個人情報を対応付ける識別キーを発行し、

前記需要者に前記検査の結果および前記識別キーを渡し、

前記需要者から取得した前記識別キーが前記提供者によって提示されると、前記識別キーに対応する前記個人情報を前記提供者に送信する、

ことを特徴とする情報仲介方法。

【請求項5】

ネットワークに接続可能な端末装置のユーザに情報を与える情報提供サイトに用いられるサーバのためのコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

前記ユーザに対して検査を行うための検査処理と、

前記ユーザに関する個人情報および前記検査処理による検査結果を識別キーとともに記憶する記憶処理と、

前記検査結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信処理と、

前記識別キーにより指定される前記個人情報および前記検査結果を他のサイトに送信する第二の送信処理と、

をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット上のサイトにおいて商品または役務の提供を行うための通信システムおよび情報仲介方法並びに記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来より、商品または役務の提供者において、試供品などを需要者に配付する

ことによって販売の促進を図る方法が広く用いられている。また、試供品にアンケート用紙を添付することがある。提供者は、アンケート結果に基づいて需要者全体の好みなどの統計を取り、商品開発などに役立てる。あるいは、個々の需要者に対してテストを行い、各人に最適な商品などを提案する。または、アンケート用紙に記入された連絡先にダイレクトメールを送付するなどのセールス活動を行う。

【0003】

例えば、化粧品会社が自社の商品の試供品をショッピングセンターなどで配付し、または需要者の住所に送付する。試供品を受け取った需要者は、試供品を試した後、添付のアンケート用紙に回答し、化粧品会社に返信する。そして、提供者は、回答に基づいて需要者に最適な化粧品を提案する。

【0004】

しかし、無差別に試供品を需要者に配布することは、人件費、輸送費、通信費、または試供品そのもののコストに大きな無駄を生じる。特に、最近では、ターゲットを絞った商品または役務が多く考案されており、試供品を配付する需要者を選ぶことが重要となっている。

【0005】

そこで、商品などに関する情報を発信するWebページをインターネット上のサイトに開設し、係るWebページにアクセスするユーザに試供品を送付する方法が行われている。

【0006】

係るWebページにアクセスするユーザは、その会社または商品に興味を持っていることが多いので、商品を購入する可能性が高い。つまり、効率よく試供品を配付するためには、係るユーザにターゲットを絞ることが考え得る。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

ところが、商品に関する情報を発信するWebページはインターネット上に数多く存在するので、一般に、購入意欲のある需要者が係るWebページにアクセスする数は、提供者の期待する数よりも少ない。

【0008】

また、アクセスがあったとしても、ユーザが試供品の送付先の住所および氏名を提供者に教えないことが多い。なぜなら、住所および氏名などの個人情報が係るWebページを介して外部に流出する、または提供者から不要な勧誘を受けるなどの恐れがあるからである。

【0009】

したがって、このような方法では、販売の促進の効果があまり見込めない。

本発明は、上記の問題点に鑑み、需要者にとって提供者からの商品または役務の提供を安心して受けることができ、提供者にとって需要者に対する商品または役務の販売の推進を効率よく行うことができる通信システムおよび情報仲介方法並びに記録媒体を提供することを目的とする。

【0010】

【発明を解決するための手段】

本発明に係る通信システムは、ネットワークによって互いに接続された複数のサイト間で情報のやり取りを行う通信システムであって、第一のサイトには、ネットワーク上の端末装置のユーザに対して検査を行うための検査手段と、前記ユーザに関する個人情報および前記検査手段による検査結果を識別キーとともに記憶する記憶手段と、前記検査結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、前記個人情報および前記検査結果を第二のサイトに送信する第二の送信手段と、が設けられ、前記第二のサイトには、前記ユーザから前記識別キーを受信する識別キー受信手段と、前記識別キー受信手段が受信した前記識別キーを前記第一のサイトに送信する識別キー送信手段と、前記第一のサイトに送信した前記識別キーに対応する前記個人情報および前記検査結果を前記第一のサイトから受信するユーザ情報受信手段と、が設けられ、前記第二の送信手段は、前記第二のサイトが示した前記識別キーに対応する前記個人情報および前記検査結果を送信する。

【0011】

通信システムの他の実施形態として、ネットワークによって互いに接続された複数のサイト間で情報のやり取りを行う通信システムであって、第一のサイトに

は、ネットワーク上の端末装置のユーザに関する個人情報を識別キーとともに記憶する記憶手段と、前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、前記個人情報を第二のサイトに送信する第二の送信手段と、が設けられ、前記第二のサイトには、前記ユーザに対して行った検査の結果を前記第一のサイトに送信する結果送信手段と、前記ユーザから前記識別キーを受信する識別キー受信手段と、前記識別キー受信手段が受信した前記識別キーを前記第一のサイトに送信する識別キー送信手段と、前記第一のサイトに送信した前記識別キーに対応する前記個人情報を前記第一のサイトから受信するユーザ情報受信手段と、が設けられ、前記記憶手段は、前記第二のサイトから受信した前記検査の結果を前記識別キーとともに記憶し、前記第一の送信手段は、前記識別キーに対応する前記検査の結果を送信する。

【0012】

好ましくは、前記識別キーは、前記個人情報のうち前記第二のサイトに開示してもよい項目に関する開示可能情報を有し、前記第二の送信手段は、前記個人情報のうち前記開示可能情報に対応する項目のみを送信する。

【0013】

ユーザに商品または役務を提供するための通信システムとして、ネットワークに接続可能な端末装置のユーザに情報を与える第一のサイト、および前記ユーザに商品または役務を提供するための情報を与える第二のサイトからなる通信システムであって、前記第一のサイトには、前記ユーザに対して前記商品または役務の提供に用いられる検査を行うための検査手段と、前記ユーザに関する個人情報および前記検査手段による検査結果を識別キーとともに記憶する記憶手段と、前記検査結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、前記個人情報および前記検査結果を前記第二のサイトに送信する第二の送信手段と、が設けられ、前記第二のサイトには、前記ユーザから前記識別キーを受信する識別キー受信手段と、前記識別キー受信手段が受信した前記識別キーを前記第一のサイトに送信する識別キー送信手段と、前記第一のサイトに送信した前記識別キーに対応する前記個人情報および前記検査結果を前記第一のサイトから受信するユーザ情報受信手段と、が設けられ、前記識別キーは、前記個人情報のうち前記

第二のサイトに開示してもよい項目に関する開示可能情報を有し、前記第二の送信手段は、前記個人情報について、前記第二のサイトが示した前記識別キーの前記開示可能情報に対応する項目のみを送信する。

【0014】

本発明に係る情報提供サイトに用いられるサーバは、ネットワークに接続可能な端末装置のユーザに情報を与える情報提供サイトに用いられるサーバであって、前記ユーザに対して検査を行うための検査手段と、前記ユーザに関する個人情報および前記検査手段による検査結果を識別キーとともに記憶する記憶手段と、前記検査結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、前記個人情報および前記検査結果を他のサイトに送信する第二の送信手段と、を有し、前記識別キーは、前記個人情報のうち前記他のサイトに開示してもよい項目に関する開示可能情報を有し、前記第二の送信手段は、前記個人情報のうち前記開示可能情報に対応する項目のみを送信する。

【0015】

本発明に係る情報仲介方法は、商品または役務の需要者と前記需要者に前記商品または役務を提供する提供者との間における情報のやり取りを、コンピュータおよびネットワークを用いて仲介する、情報仲介方法であって、前記需要者に関する個人情報を記憶し、前記需要者に対して行った前記商品または役務の提供のための検査の結果を求め、前記結果情報と前記個人情報とを対応付ける識別キーを発行し、前記需要者に前記検査の結果および前記識別キーを渡し、前記需要者から取得した前記識別キーが前記提供者によって提示されると、前記識別キーに対応する前記個人情報を前記提供者に送信する。

【0016】

情報仲介方法の他の実施形態として、コンピュータおよびネットワークを用いて商品または役務の需要者と前記ユーザに前記商品または役務を提供する提供者とを仲介する情報仲介方法であって、前記需要者から回収した前記商品または役務の提供のための検査に用いられた物品を前記提供者に渡し、前記検査の結果を取得し、前記需要者に関する個人情報を識別キーとともに記憶し、前記検査の結果および前記識別キーを前記需要者に送信し、前記提供者から示された前記識別

キーに対応する前記個人情報を前記提供者に送信する。

【0017】

通信システムの他の実施形態として、ネットワークによって互いに接続された複数のサイト間で情報のやり取りを行う通信システムであって、第一のサイトには、ネットワーク上の端末装置のユーザに関する個人情報および前記ユーザに対して行った検査の結果を識別キーとともに記憶する記憶手段と、前記検査の結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、前記個人情報を第二のサイトに送信する第二の送信手段と、が設けられ、前記第二のサイトには、前記ユーザから前記識別キーを受信する識別キー受信手段と、前記識別キー受信手段が受信した前記識別キーを前記第一のサイトに送信する識別キー送信手段と、前記第一のサイトに送信した前記識別キーに対応する前記個人情報を前記第一のサイトから受信するユーザ情報受信手段と、が設けられ、前記第一の送信手段は、前記識別キーに対応する前記検査の結果を送信する。

【0018】

本発明に係る記録媒体は、ネットワークに接続可能な端末装置のユーザに情報を与える情報提供サイトに用いられるサーバのためのコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記ユーザに対して検査を行うための検査処理と、前記ユーザに関する個人情報および前記検査処理による検査結果を識別キーとともに記憶する記憶処理と、前記検査結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信処理と、前記識別キーにより指定される前記個人情報および前記検査結果を他のサイトに送信する第二の送信処理と、をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0019】

本発明に係る通信システムまたはサーバは、例えばパーソナルコンピュータまたはワークステーションを用いて実現される。本発明に係る方法を実行するためのプログラムは、半導体メモリ、ハードディスク、CD-ROM、フロッピーディスク、または光磁気ディスクなどの記録媒体に格納される。記録媒体に格納されたプログラムは、主メモリ上に適時ローディングされ、処理装置によって実行される。その際に、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブ、また

は光磁気ディスクドライブなどのドライブ装置が必要に応じて用いられる。記録媒体がネットワークなどの通信回線で結ばれたサーバに設けられている場合には、通信回線を介してサーバからプログラムが読み取られまたはダウンロードされる。また、プログラムが通信回線を介して処理装置に転送される場合には、通信回線自体も記録媒体に相当する。プログラムは、種々のOS、プラットホーム、システム環境、またはネットワーク環境の下で動作するように供給可能である。

【0020】

本発明において、検査とは、例えば、ユーザにアンケートに答えて貰い、そのアンケートを分析しまたは統計を取ること、ユーザに試供品を提供し、その試供品の使用結果を分析しまたは統計を取ることなどである。

【0021】

【発明の実施の形態】

図1は本発明に係る通信システム1の構成の例を示す図、図2は本発明の一実施形態における処理の流れを説明するフローチャート、図3は情報提供サイト2およびサービス提供サイト3の機能的構成を示す図、図4は情報提供サイト2のトップページに用いられるWebページ2p1の例を示す図、図5および図6は簡易肌診断に導くリンクを有するWebページ2p2、2p3の例を示す図、図7は簡易肌診断のためのWebページ2p4の例を示す図、図8は簡易肌診断の結果に関する電子メール2m1の例を示す図、図9は簡易肌診断の結果を示すWebページ2p5の例を示す図、図10は詳細肌診断の結果に関する電子メール2m2の例を示す図、図11は詳細肌診断の結果を示すWebページ2p6の例を示す図、図12は識別キーDTKの入力のためのWebページ2p7の例を示す図、図13はデータを転送中である旨を表示するWebページ2p9の例を示す図、図14はユーザごとにカスタマイズされたWebページ2p8の例を示す図、図15は顧客データ記憶部212を説明する図、図16は本発明に係る方法を実行するためのプログラムの記録媒体STの形態を示す図である。

【0022】

図1に示すように、通信システム1は、情報提供サイト2、サービス提供サイト3、端末装置4、および通信回線5などによって構成される。



情報提供サイト2は、インターネットプロバイダまたはインターネット検索サービス会社などが運営するサイトである。インターネット上のユーザは、情報提供サイト2を通じて種々の情報を取得したりは種々の情報の検索を行うことができる。

【0023】

本実施形態では、情報提供サイト2として、ニュース、占い、または旅行など、種々の分野の情報を提供するインターネットプロバイダ「A社」を例に説明する。情報を提供する手段として、例えば、図4～図6に示すWebページ2p1～2p3などが用いられ、ユーザはWWWブラウザによってこれらのWebページ2p1～2p3にアクセスすることができる。また、A社は、端末装置4のインターネットへの接続サービスを行っており、多数の会員についての個人情報または個人データを有している。

【0024】

サービス提供サイト3は、商品または役務の提供を業とする会社などの団体によって運営され、または係る団体に委託された第三者などによって運営されるサイトである。

【0025】

本実施形態では、サービス提供サイト3として、化粧品などを提供する会社「B社」が運営するサイトを例に説明する。B社は、サービス提供サイト3のWebページに自社の取扱い商品などの情報を掲載している。インターネットのユーザは、サービス提供サイト3を通じてその会社が取り扱う商品または役務に関する情報を取得することができる。

【0026】

また、B社は、販売促進（プロモーション）のイベントとして、需要者であるユーザに対して、商品の購入前に肌の診断を行う。肌診断のイベントは2種類用意されている。1つは、情報提供サイト2に図7に示す肌の診断用のWebページ2p4を設け、Webページ2p4の質問に対するユーザの回答（アンケート）に基づいて肌の診断を行う。以下、係る肌の診断を「簡易肌診断」と記載する。

【0027】

もう1つは、ユーザの手元に診断キット70を送付し、ユーザから返送された診断キット70を分析することによって肌の診断を行う。例えば、診断キット70として、肌の脂分を採取したまたは肌の水分量などを検出するためのフィルムまたは試験紙などを送付する。ユーザは、診断キット70を用いて肌の脂分の採取などを行い、診断キット70を返送する。診断キット70の送付および回収は、A社がB社を代理して行う。以下、係る肌の診断を「詳細肌診断」と記載する。

【0028】

このように、B社の簡易肌診断および詳細肌診断は、A社を介して行われるので、ユーザの氏名または連絡先などに関する個人情報はA社のみに知られ、B社には知られない。ユーザはA社とプロバイダ契約をしており、ユーザとA社との間には一定の信頼関係がある。したがって、ユーザは、個人情報をA社に知られることに抵抗はなく、A社の情報提供サイト2にアクセスして気軽に肌の診断を行うことができる。B社は、A社を介して多くのユーザに販売促進のイベントを利用してもらうことができる。なお、簡易肌診断は無料で行われ、詳細肌診断は有料で行われるものとする。ただし、所定の場合、詳細肌診断の料金の一部または全部は、ユーザに返金（ペイバック）される。

【0029】

情報提供サイト2などの構成および機能などを説明する前に、簡易肌診断および詳細肌診断を行い、B社からユーザに商品が提供されるまでの概要を、フローチャートを参照して説明する。

【0030】

図2に示すように、ユーザは、端末装置4を用いて情報提供サイト2のWebページ2p4にアクセスし、簡易肌診断を行い、診断結果に関するデータを取得する（#1）。以下、係るデータを「簡易診断結果DT1」と記載する。

【0031】

ユーザは、簡易肌診断の結果を見て、さらに詳しい肌の診断を希望する場合は、その旨をA社に申し込んでA社から詳細肌診断のための診断キット70を受け取り、その診断キット70を使って肌の脂分を採取するなどし、その診断キット

70をA社に返送する（#2）。

【0032】

A社は、ユーザの氏名、住所、または連絡先などのユーザ個人に関するデータを伏せて、受け取った診断キット70をB社に渡す（#3）。B社は、A社から受け取った診断キット70を分析するなどして、診断結果に関するデータを求める（#4）。以下、ユーザ個人に関するデータを「個人データDTH」と記載し、ステップ#4の診断結果に関するデータを「詳細診断結果DT2」と記載する。

【0033】

詳細診断結果DT2は、A社を経由してユーザに送られる。このとき、A社はユーザを識別する識別キーDTKをユーザに発行する。詳細診断結果DT2は、係る識別キーDTKとともにユーザに送られる（#5）。ユーザは、詳細肌診断の結果を見て、B社に個人データDTHを知らせてB社の商品を購入したまたはサービスを受けてもよいと考えた場合は、サービス提供サイト3にアクセスし、識別キーDTKをB社に送る（#6）。

【0034】

B社は、ユーザから送られた識別キーDTKを用いて、情報提供サイト2からユーザの個人データDTHを取得することができる（#7）。以降、B社は個人データDTHを用いて、係るユーザに最適な商品またはサービスの提供を行うことができる。

【0035】

つまり、簡易肌診断によって購入意欲があると推測されるユーザ（需要者）を見つけ、詳細肌診断によって係るユーザに適した商品を提案し提供する。

図1に戻って、情報提供サイト2は、サーバ21およびネットワーク機器などのハードウェアおよび種々のソフトウェアによって実現される。サーバ21は、CPU、RAM、ROM、通信制御装置、および磁気ディスク装置などによって構成される。サーバ21には、光磁気ディスクドライブまたはCD-ROMドライブなどが外付けで接続されることもある。

【0036】

ROMまたは磁気ディスク装置には、オペレーティングシステム、後に説明する処理を実行するためのソフトウェア（プログラム）、およびデータなどがインストールされている。プログラムは、種々のOS、プラットホーム、システム環境、またはネットワーク環境の下で動作するように供給可能である。これらのプログラムおよびデータは、必要に応じてRAMに読み込まれ、CPUによって実行される。または、これらのプログラムおよびデータを他の記録媒体STから読み込んでもよい。例えば、図16に示すように、CD-ROM、フロッピーディスク、もしくは光磁気ディスクなどの可搬媒体STB、ネットワークもしくは通信回線STDで結ばれたサーバもしくはDASDなどの回線先媒体STC、または通信回線STDそれ自体が、記録媒体STとして利用可能である。記録媒体STが可搬媒体STBである場合には、プログラムは可搬媒体STBの種類に対応するドライブ装置によって読み出され、サーバ21の磁気記憶装置に格納されまたはメモリ上にローディングされ、実行される。記録媒体STが回線先媒体STCである場合には、プログラムは通信回線STDを介して磁気記憶装置にダウンロードされ、または適時メモリ上に転送されて実行される。

【0037】

サービス提供サイト3は、情報提供サイト2と同様に、サーバ31およびネットワーク機器などのハードウェアおよび種々のソフトウェアによって実現される。

【0038】

端末装置4は、CPU、RAM、通信制御装置、磁気ディスク装置またはROMなどの記憶装置、およびディスプレイ装置などによって構成される。記憶装置には、WWWブラウザ40が記憶されている。WWWブラウザ40によって、情報提供サイト2またはサービス提供サイト3のWebページなどから種々の情報を取得することができる。取得された情報は、ディスプレイ装置の表示面に表示される。端末装置4として、パーソナルコンピュータ、ワークステーション、携帯電話、またはPHSなどが用いられる。

【0039】

サーバ21、31および端末装置4は、通信回線5によって互いに接続される

。通信回線5として、インターネット、イントラネット、専用線、または公衆回線などが用いられる。これらの装置間の通信プロトコルとして、TCP/IP、HTTP、SMTP、POP3、IMAP、またはFTPなどが用いられる。

【0040】

このような構成によって、情報提供サイトを構成するサーバ21には、図3に示すように、簡易診断処理部210、簡易結果送信部211、顧客データ記憶部212、キット送付処理部213、詳細結果処理部214、詳細結果送信部215、および顧客データ抽出部216などの機能が実現される。また、サービス提供サイトを構成するサーバ31には、詳細結果送信部311、識別キー受信部312、顧客データ要求部313、顧客データ受信部314、顧客ページ生成部315、および詳細結果記憶部316などの機能が実現される。

【0041】

簡易診断処理部210は、簡易肌診断に関する処理を行う。係る処理は、次のように行われる。

すなわち、簡易診断処理部210は、まず、図7に示すWebページ2p4を表示するためのハイパーテキストHT1および必要な画像ファイルなどを端末装置4に送信する。Webページ2p4には、睡眠時間または化粧時間など簡易肌診断に必要な質問に回答するためのチェックボックスCB4、およびユーザの氏名、性別、住所、年齢、職業、または電子メールアドレスなどを入力するテキストボックスTX4などが含まれる。端末装置4では、これらの質問に対する回答が入力される。このとき、ユーザは、肌の診断に必要な質問については正しく回答しなければならないが、肌の診断に直接関係のない質問については回答しなくてもよい。例えば、ユーザの氏名の代わりにニックネームなどを用いてもよい。あるいは、住所または職業を入力しなくてもよい。ただし、電子メールアドレスについては、図8に示す電子メール2m1の送信先として用いられるので、正しく入力しなければならない。

【0042】

端末装置4から回答を取得すると、予め設けられたプログラムに基づいて所定の演算処理を行い、簡易診断結果DT1を生成する。各簡易診断結果DT1を識

別するための診断コードDTaを発行し、この診断コードDTaとともに簡易診断結果DT1を顧客データ記憶部212に記憶する。例えば、診断コードDTaとして、「AB123」などの文字列が用いられる。そして、図8に示す電子メール2m1を生成し、ユーザの電子メールアドレス宛に送信する。電子メール2m1の構成については、後に説明する。なお、端末装置4から取得した回答も顧客データ記憶部212に記憶しておいてもよい。係る回答を他の診断に用いることができるからである。

【0043】

ところで、一般に、WWWブラウザのポータルサイトとしてインターネットプロバイダなどの情報提供サイトのトップページが用いられることが多い。そこで、Webページ2p4へのアクセス数を増やすために、情報提供サイト2のトップページであるWebページ2p1からハイパーリンクを辿ることによってWebページ2p4へアクセスできるように、図4～図6に示すWebページ2p1～2p3が設計されている。

【0044】

Webページ2p1には、Webページ2p2にリンクするハイパーリンク2Laが設けられている。同様に、Webページ2p2にはWebページ2p3にリンクするハイパーリンク2Lbが設けられ、Webページ2p3にはWebページ2p4にリンクするハイパーリンク2Lcが設けられている。ユーザは、これらのハイパーリンク2Laから2Lbを順にクリックすることによって、簡単にWebページ2p4に辿りつくことができる。なお、WWWブラウザ40にWebページ2p4のURLを指定するなどして、Webページ2p4にアクセスしてもよい。

【0045】

図3に戻って、簡易結果送信部211は、簡易診断結果DT1に基づいて図9に示すWebページ2p5を表示するためのハイパーテキストHT5を生成し、端末装置4に送信する。これらの処理は、次のように行われる。

【0046】

図8に示すように、電子メール2m1には、Webページ2p5のURLを示

すハイパーリンク2Lmが設けられている。係るURL中の「AB123」は、診断コードDTaに対応している。したがって、ハイパーリンク2Lmが端末装置4によってクリックされると、簡易結果送信部211は、URL中の「AB123」が示す診断コードDTaに対応する簡易診断結果DT1を顧客データ記憶部212から抽出する。そして、ハイパーテキストHT5を生成し、係るハイパーテキストHT5を端末装置4に送信する。

【0047】

Webページ2p5には、図9に示すように、簡易肌診断による診断結果のほか、詳細肌診断を促すための説明文および詳細肌診断のための診断キット70の送付先を入力するテキストボックスTX5が含まれる。

【0048】

キット送付処理部213は、Webページ2p5にアクセスした端末装置4から診断キット70の送付の要求を受信し、ユーザの個人データDTHを顧客データ記憶部212に記憶する。すなわち、端末装置4において図9に示すWebページ2p5のボタンBN5がクリックされると、キット送付処理部213は、Webページ2p5のテキストボックスTX5に入力された氏名および住所を端末装置4から取得する。そして、診断コードDTaに対応付けて、取得したデータを個人データDTHとして顧客データ記憶部212に記憶する。

【0049】

キット送付処理部213による処理の後、A社は、郵便または宅配などによって診断キット70をユーザに送付する。診断キット70を受け取ったユーザは、診断キット70を用いてテストを行い、テスト済みの診断キット70をA社へ返送する。そして、A社は、ユーザの氏名などの代わりに診断コードDTaを付して診断キット70をB社に渡す。

【0050】

B社は、診断キット70を分析するなどして詳細診断結果DT2を生成する。そして、サービス提供サイト3の詳細結果送信部311は、生成された詳細診断結果DT2を診断コードDTaとともに情報提供サイト2に送信する。詳細診断結果DT2は、詳細結果記憶部316に記憶される。

【0051】

詳細結果処理部214は、詳細診断結果DT2を詳細結果送信部311から受信し、識別キーDTKを発行する。詳細診断結果DT2および識別キーDTKは、診断コードDTaに対応付けられて顧客データ記憶部212に記憶される。そして、詳細結果処理部214は、図10に示す電子メール2m2を生成し、端末装置4に送信する。電子メール2m2には、図11に示すWebページ2p6のURLを示すハイパーリンク2Lnが設けられている。

【0052】

詳細結果送信部215は、詳細診断結果DT2および識別キーDTKに基づいてWebページ2p6を表示するためのハイパーテキストHT6を生成し、端末装置4に送信する。係る処理の方法は、簡易結果送信部211における処理の方法とほぼ同様である。Webページ2p6には、詳細肌診断による診断結果および識別キーDTKのほか、サービス提供サイト3へのハイパーリンク2Ldが含まれている。

【0053】

ハイパーテキストHT6を受信した端末装置4において、Webページ2p6のハイパーリンク2Ldがクリックされると、図12に示すWebページ2p7にアクセスする。Webページ2p7の中のテキストボックスTX7に、受け取った識別キーDTKおよびユーザの電子メールアドレスARDが入力され、ボタンBN7がクリックされると、図14に示すWebページ2p8にアクセスする。このとき、識別キー受信部312は、入力された識別キーDTKおよび電子メールアドレスARDを取得する。

【0054】

ところで、サービス提供サイト3において、識別キーDTKは、報提供サイト2からユーザの個人データDTHを取得するための鍵として用いられる。

図15に示すように、識別キーDTKには「yyQ899cxm」のように英数字または記号などを不規則に配列した文字列が用いられるので、サービス提供サイト3は識別キーDTKを偽造することが難しい。

【0055】

また、識別キーDTKには、個人データDTHのうちサービス提供サイト3に開示してもよい項目に関する開示可能情報DTHaが設けられている。顧客データ記憶部212は開示項目リストKLを有しており、係る開示項目リストKLには開示可能な項目の番号が開示可能情報DTHaごとに記憶されている。例えば、「yyQ899c xm」の中の「Q」が開示可能情報DTHaである場合は、開示項目リストKLの「Q=1~5」に従って「氏名」、「性別」、「年齢」、「電子メールアドレス」、および「住所」をサービス提供サイト3に開示してもよいものとされる。

【0056】

図3に戻って、顧客データ要求部313は、識別キー受信部312が取得した識別キーDTKおよび電子メールアドレスARDを情報提供サイト2に送信することによって、情報提供サイト2に対し、簡易診断結果DT1および個人データDTHを要求する。

【0057】

顧客データ抽出部216は、顧客データ要求部313から識別キーDTKおよび電子メールアドレスARDを受信し、係る識別キーDTKに対応する簡易診断結果DT1および個人データDTHを顧客データ記憶部212から抽出する。すなわち、受信した識別キーDTKと顧客データ記憶部212に記憶されている識別キーDTKとを照合し、一致する識別キーDTKに対応する簡易診断結果DT1および個人データDTHを取得する。そして、抽出された簡易診断結果DT1および個人データDTHをサービス提供サイト3の顧客データ受信部314に送信する。なお、受信した電子メールアドレスARDは、照合の確実性を高めるために用いられる。つまり、識別キーDTKを用いた照合の場合と同様の処理を電子メールアドレスARDについて行う。電子メールアドレスの代わりに住所などを用いてもよいし、識別キーDTKだけで照合を行ってもよい。

【0058】

顧客ページ生成部315は、顧客データ受信部314が取得した簡易診断結果DT1および個人データDTHと詳細結果記憶部316に記憶されている詳細診断結果DT2とに基づいて、図14に示すWebページ2p8のように、ユーザ

ごとにカスタマイズしたWebページを生成する。ユーザは、Webページ2p8にアクセスし、自分に最適な商品などの情報を得たり、B社から商品を購入したりすることができる。なお、Webページ2p8の作成に時間が掛かる場合は、図13に示すWebページ2p9のように、データを転送中である旨のメッセージを表示してもよい。

【0059】

本実施形態によると、需要者であるユーザは提供者からの商品または役務の提供を安心して受けることができ、提供者はユーザに対する商品または役務の販売の推進を効率よく行うことができる。

【0060】

本実施形態では、簡易肌診断および詳細肌診断を1回ずつ行ったが、いずれか一方の肌診断のみを行ってもよい。または、3回以上肌診断を行うようにしてもよいし、ユーザがいずれの肌診断を行うかを選択できるようにしてもよい。

【0061】

詳細肌診断による詳細診断結果DT2の生成はB社が行ったが、A社およびB社とは別の第三者が行ってもよい。係る場合は、詳細診断結果DT2は第三者からA社に送られる。B社は、詳細診断結果DT2を、簡易診断結果DT1および個人データDTHとともに情報提供サイト2から取得すればよい。

【0062】

個人データDTHを肌診断によって取得したが、情報提供サイト2が既得している個人データを用いてもよい。例えば、ユーザが情報提供サイト2の会員である場合は、情報提供サイト2は既にユーザの個人データを持っている。したがって、既得している個人データを用いれば、ユーザは肌診断の際に会員IDなどを入力するだけで済む。また、情報提供サイト2にとって効率的なデータの管理を行うことができる。

【0063】

サービス提供サイト3を複数設けてもよい。例えば、化粧品会社B社および製薬会社C社のそれぞれのサービス提供サイト3を設け、同じ検査結果をB社とC社とが共用するようにしてもよい。このように、他業種の提供者同士が同じ検査

結果を共用することにより、各提供者は販売促進の相乗効果が期待でき、需要者は幅広い種類の商品などの提供を受けることができる。

【0064】

または、複数の化粧品会社が同じ検査結果を共用してもよい。これにより、各提供者は提供者間の競争によって販売の活性化を図ることができ、需要者は同種の商品同士を比較することにより最適な商品の提供などを受けることができる。

【0065】

本実施形態では、化粧品の販売の促進のためにユーザの肌の診断を行う例について説明したが、その他の商品または役務について適用することができる。例えば、食品の販売を促進する場合は、診断キット70の代わりに試供品を送付し、ユーザの味の好みなどを検査してもよい。

【0066】

B社は、取得した個人データDTHをCTI (Computer Telephony Integration) のために用いてもよい。例えば、ユーザに商品を販売した後、電話、WWWブラウザ、電子メール、またはチャットなどを介してユーザからの質問に答える際に用いられる。個人データDTHがあれば、ユーザの氏名、年齢、または購入した商品などを聞き出すことなく、直ちにユーザからの質問に答えることができる。このように、CTIによれば、B社は、一対一でユーザに対応することができるので、より綿密なサービスの提供などを行うことができる。

【0067】

B社は、サービス提供サイト3のほか、商品などを購入したユーザのための専用のサービス、いわゆるプライベートブランドインターネットサービス(PBIS)のサイトを設けてもよい。例えば、係るユーザごとに会員IDおよび独自のドメイン名の電子メールアドレスを発行する。そして、PBISに設けられた専用のWebページまたは係る電子メールアドレスに送信される電子メールなどを介して、B社の新製品の情報または限定商品の情報などをユーザに提供する。または、PBISに会員専用の掲示板を設けるなどしてもよい。このように、商品を購入したユーザを他のユーザと差別化することにより、より多くの集客を図ることができる。

【0068】

情報提供サイト2に課金システムを設けてもよい。一般に、端末装置4をインターネットに接続するサービスを行うインターネットプロバイダは、接続料金の徴収のためにクレジットカードによる決済を行う。そこで、情報提供サイト2に課金システムを設ける。B社はA社と連携し、A社に商品の代金などの徴収を依頼してもよい。これにより、提供者にとってはサービス提供サイト3に課金システムを設ける必要がない。また、商品着払いによる方法に比べて、代金の支払が滞る心配が軽減する。需要者にとっては新たに提供者との間で契約を行う必要がないので、クレジットカードの番号が流出するなどの心配がない。

【0069】

ユーザが図12に示すWebページ2p7のテキストボックスT X 7に識別キーDTKを入力してB社に識別キーDTKを送信すれば、すなわち、ユーザが自分のユーザ情報DTHをB社に提供すれば、B社から詳細肌診断の料金の一部または全部の返金（ペイバック）が受けられるようにしてよい。または、B社から商品などを購入する際に、その代金を割り引かれるようにしてよい。これにより、詳細肌診断のイベントを利用するユーザを増やし、販売の促進を図ることができる。

【0070】

本実施形態の各機能を実現するために複数台のサーバ21、31を用いてよい。

その他、通信システム1、情報提供サイト2、またはサービス提供サイト3全体または各部の構成、処理内容、処理順序などは、本発明の趣旨に沿って適宜変更することができる。

（付記1）ネットワークによって互いに接続された複数のサイト間で情報のやり取りを行う通信システムであって、

第一のサイトには、

ネットワーク上の端末装置のユーザに対して検査を行うための検査手段と、前記ユーザに関する個人情報および前記検査手段による検査結果を識別キーとともに記憶する記憶手段と、

前記検査結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、
前記個人情報および前記検査結果を第二のサイトに送信する第二の送信手段と
が設けられ、

前記第二のサイトには、

前記ユーザから前記識別キーを受信する識別キー受信手段と、
前記識別キー受信手段が受信した前記識別キーを前記第一のサイトに送信する
識別キー送信手段と、

前記第一のサイトに送信した前記識別キーに対応する前記個人情報および前記
検査結果を前記第一のサイトから受信するユーザ情報受信手段と、が設けられ、

前記第二の送信手段は、前記第二のサイトが示した前記識別キーに対応する前
記個人情報および前記検査結果を送信する、

ことを特徴とする通信システム。

(付記2) ネットワークによって互いに接続された複数のサイト間で情報のやり
取りを行う通信システムであって、

第一のサイトには、

ネットワーク上の端末装置のユーザに関する個人情報を識別キーとともに記憶
する記憶手段と、

前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、

前記個人情報を第二のサイトに送信する第二の送信手段と、が設けられ、

前記第二のサイトには、

前記ユーザに対して行った検査の結果を前記第一のサイトに送信する結果送信
手段と、

前記ユーザから前記識別キーを受信する識別キー受信手段と、

前記識別キー受信手段が受信した前記識別キーを前記第一のサイトに送信する
識別キー送信手段と、

前記第一のサイトに送信した前記識別キーに対応する前記個人情報を前記第一
のサイトから受信するユーザ情報受信手段と、が設けられ、

前記記憶手段は、前記第二のサイトから受信した前記検査の結果を前記識別キ
ーとともに記憶し、

前記第一の送信手段は、前記識別キーに対応する前記検査の結果を送信する、ことを特徴とする通信システム。

(付記3) 前記識別キーは、前記個人情報のうち前記第二のサイトに開示してもよい項目に関する開示可能情報を有し、

前記第二の送信手段は、前記個人情報のうち前記開示可能情報に対応する項目のみを送信する、

請求項1または請求項2記載の通信システム。

(付記4) ネットワークに接続可能な端末装置のユーザに情報を与える第一のサイト、および前記ユーザに商品または役務を提供するための情報を与える第二のサイトからなる通信システムであって、

前記第一のサイトには、

前記ユーザに対して前記商品または役務の提供に用いられる検査を行うための検査手段と、

前記ユーザに関する個人情報および前記検査手段による検査結果を識別キーとともに記憶する記憶手段と、

前記検査結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、前記個人情報および前記検査結果を前記第二のサイトに送信する第二の送信手段と、が設けられ、

前記第二のサイトには、

前記ユーザから前記識別キーを受信する識別キー受信手段と、

前記識別キー受信手段が受信した前記識別キーを前記第一のサイトに送信する識別キー送信手段と、

前記第一のサイトに送信した前記識別キーに対応する前記個人情報および前記検査結果を前記第一のサイトから受信するユーザ情報受信手段と、が設けられ、

前記識別キーは、前記個人情報のうち前記第二のサイトに開示してもよい項目に関する開示可能情報を有し、

前記第二の送信手段は、前記個人情報について、前記第二のサイトが示した前記識別キーの前記開示可能情報に対応する項目のみを送信する、

ことを特徴とする通信システム。

(付記5) ネットワークに接続可能な端末装置のユーザに情報を与える情報提供サイトに用いられるサーバであって、

前記ユーザに対して検査を行うための検査手段と、

前記ユーザに関する個人情報および前記検査手段による検査結果を識別キーとともに記憶する記憶手段と、

前記検査結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と、

前記個人情報および前記検査結果を他のサイトに送信する第二の送信手段と、を有し、

前記識別キーは、前記個人情報のうち前記他のサイトに開示してもよい項目に関する開示可能情報を有し、

前記第二の送信手段は、前記個人情報のうち前記開示可能情報に対応する項目のみを送信する、

ことを特徴とする情報提供サイトに用いられるサーバ。

(付記6) 商品または役務の需要者と前記需要者に前記商品または役務を提供する提供者との間における情報のやり取りを、コンピュータおよびネットワークを用いて仲介する、情報仲介方法であって、

前記需要者に関する個人情報を記憶し、

前記需要者に対して行った前記商品または役務の提供のための検査の結果を求め、

前記結果情報と前記個人情報を対応付ける識別キーを発行し、

前記需要者に前記検査の結果および前記識別キーを渡し、

前記需要者から取得した前記識別キーが前記提供者によって提示されると、前記識別キーに対応する前記個人情報を前記提供者に送信する、

ことを特徴とする情報仲介方法。

(付記7) コンピュータおよびネットワークを用いて商品または役務の需要者と前記ユーザに前記商品または役務を提供する提供者とを仲介する情報仲介方法であって、

前記需要者から回収した前記商品または役務の提供のための検査に用いられた物品を前記提供者に渡し、

前記検査の結果を取得し、
前記需要者に関する個人情報を識別キーとともに記憶し、
前記検査の結果および前記識別キーを前記需要者に送信し、
前記提供者から示された前記識別キーに対応する前記個人情報を前記提供者に
送信する、
ことを特徴とする情報仲介方法。

(付記8) ネットワークによって互いに接続された複数のサイト間で情報のやり取りを行う通信システムであって、

第一のサイトには、
ネットワーク上の端末装置のユーザに関する個人情報および前記ユーザに対して行った検査の結果を識別キーとともに記憶する記憶手段と、
前記検査の結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信手段と

前記個人情報を第二のサイトに送信する第二の送信手段と、が設けられ、
前記第二のサイトには、
前記ユーザから前記識別キーを受信する識別キー受信手段と、
前記識別キー受信手段が受信した前記識別キーを前記第一のサイトに送信する識別キー送信手段と、

前記第一のサイトに送信した前記識別キーに対応する前記個人情報を前記第一のサイトから受信するユーザ情報受信手段と、が設けられ、

前記第一の送信手段は、前記識別キーに対応する前記検査の結果を送信する、
ことを特徴とする通信システム。

(付記9) ネットワークに接続可能な端末装置のユーザに情報を与える情報提供サイトに用いられるサーバのためのコンピュータ読み取り可能な記録媒体であつて、

前記ユーザに対して検査を行うための検査処理と、
前記ユーザに関する個人情報および前記検査処理による検査結果を識別キーとともに記憶する記憶処理と、
前記検査結果および前記識別キーを前記ユーザに送信する第一の送信処理と、

前記識別キーにより指定される前記個人情報および前記検査結果を他のサイトに送信する第二の送信処理と、

をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【0071】

【発明の効果】

本発明によると、需要者が商品または役務の提供を安心して受けることができ、提供者が商品または役務の販売の推進を効率よく行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係る通信システムの構成の例を示す図である。

【図2】

本発明の一実施形態における処理の流れを説明するフローチャートである。

【図3】

情報提供サイトおよびサービス提供サイトの機能的構成を示す図である。

【図4】

情報提供サイトのトップページに用いられるWebページの例を示す図である

【図5】

簡易肌診断に導くリンクを有するWebページの例を示す図である。

【図6】

簡易肌診断に導くリンクを有するWebページの例を示す図である。

【図7】

簡易肌診断のためのWebページの例を示す図である。

【図8】

簡易肌診断の結果に関する電子メールの例を示す図である。

【図9】

簡易肌診断の結果を示すWebページの例を示す図である。

【図10】

詳細肌診断の結果に関する電子メールの例を示す図である。

【図11】

詳細肌診断の結果を示すWebページの例を示す図である。

【図12】

識別キーの入力のためのWebページの例を示す図である。

【図13】

データを転送中である旨を表示するWebページの例を示す図である。

【図14】

ユーザごとにカスタマイズされたWebページの例を示す図である。

【図15】

顧客データ記憶部を説明する図である。

【図16】

本発明に係る方法を実行するためのプログラムの記録媒体の形態を示す図である。

【符号の説明】

- 1 通信システム
- 2 情報提供サイト（第一のサイト）
 - 2 1 サーバ
 - 2 1 0 簡易診断処理部（検査手段）
 - 2 1 1 簡易結果送信部（第一の送信手段）
 - 2 1 2 顧客データ記憶部（記憶手段）
 - 2 1 5 詳細結果送信部（第二の送信手段）
 - 3 サービス提供サイト（第二のサイト）
 - 3 1 1 詳細結果送信部（結果送信手段）
 - 3 1 2 識別キー受信部（識別キー受信手段）
 - 3 1 3 顧客データ要求部（識別キー送信手段）
 - 3 1 4 顧客データ受信部（ユーザ情報受信手段）
 - 4 端末装置
- 7 0 診断キット（物品）

D T 1 簡易診断結果（結果）

D T 2 詳細診断結果（結果）

D T H 個人データ（個人情報）

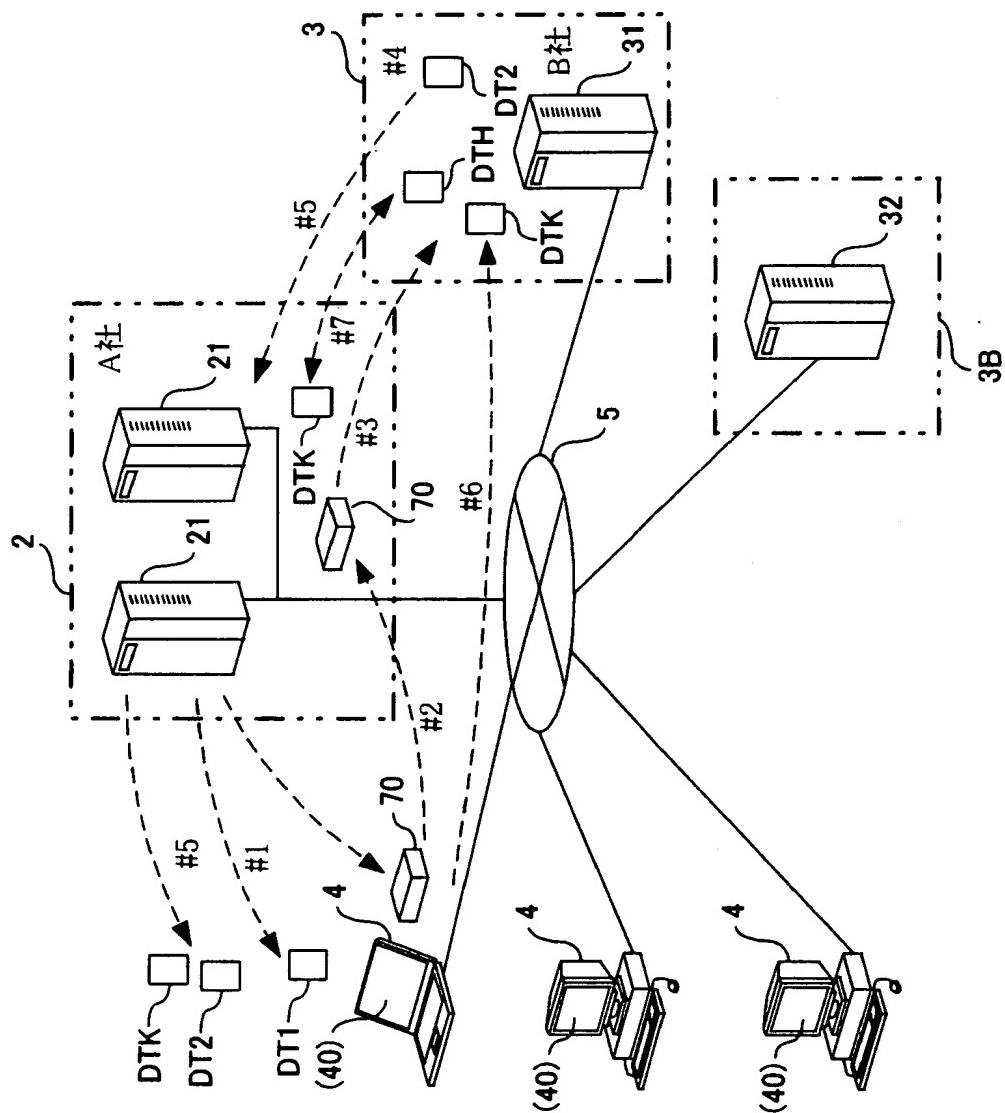
D T H a 開示可能情報

D T K 識別キー

S T 記録媒体

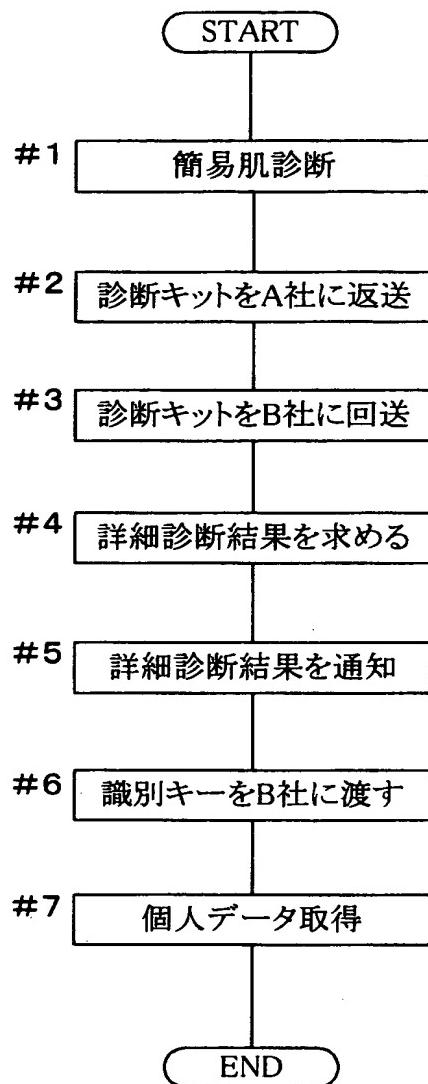
【書類名】 図面
【図1】

本発明に係る通信システムの構成の例を示す図



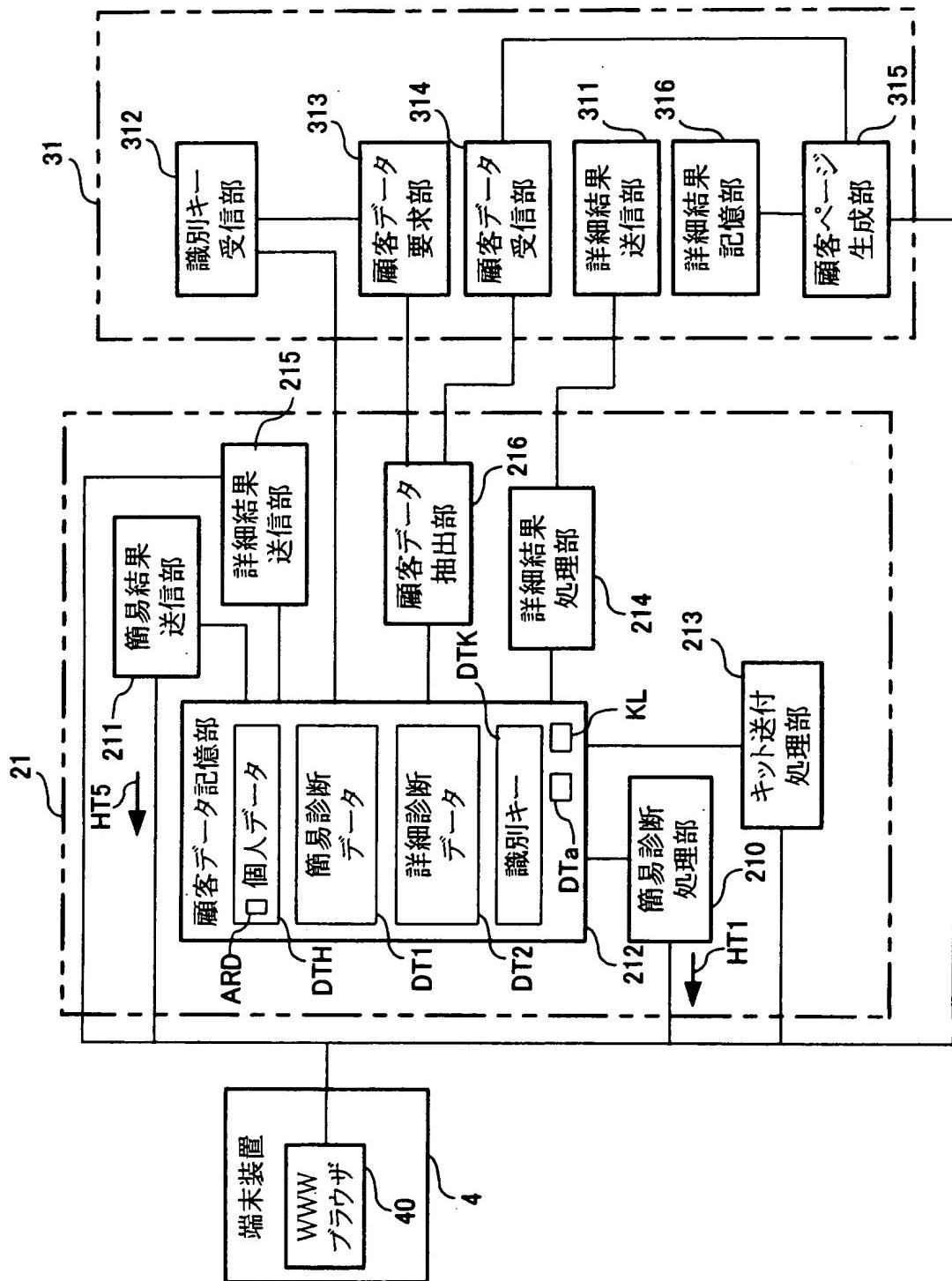
【図2】

本発明の一実施形態における処理の流れを説明するフローチャート



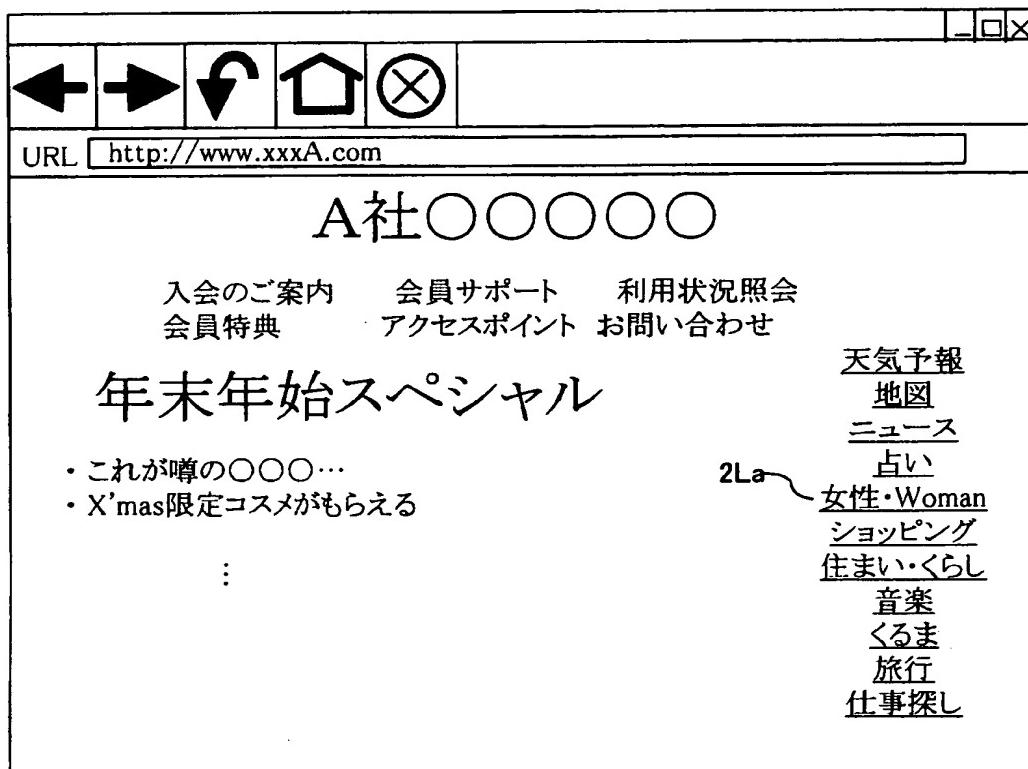
【図3】

情報提供サイトおよびサービス提供サイトの機能的構成を示す図



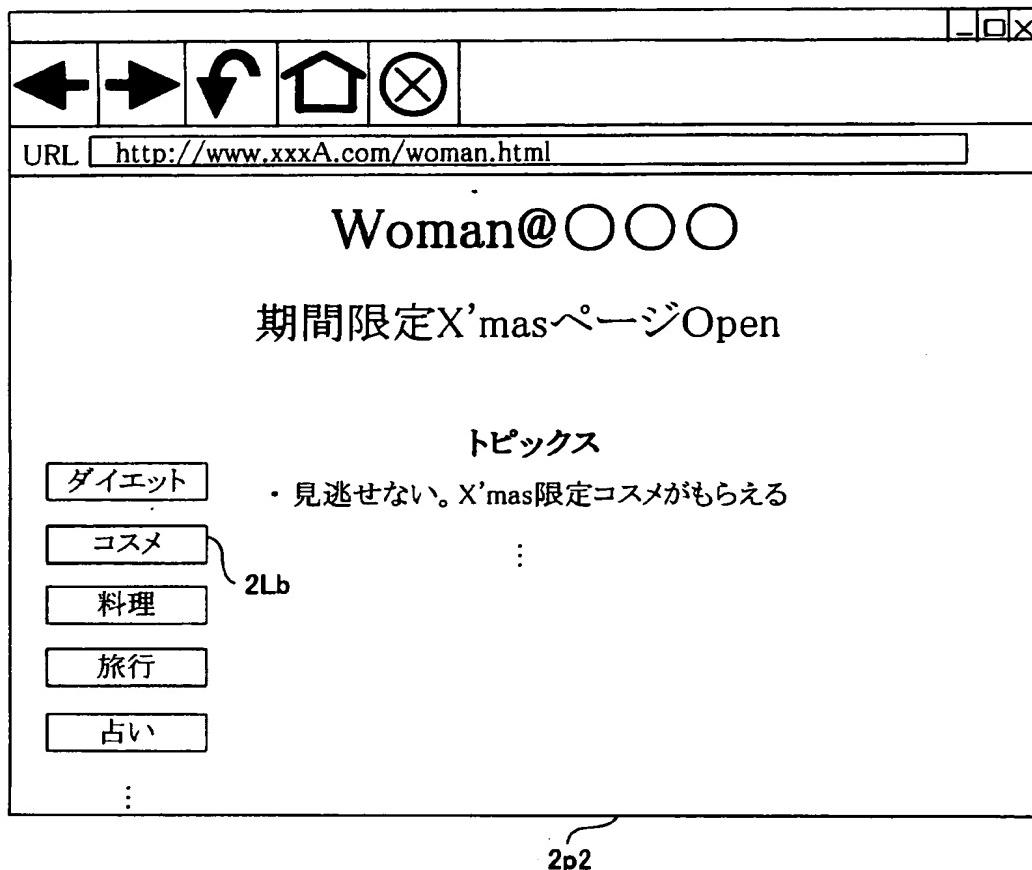
【図4】

情報提供サイトのトップページに用いられるWebページの例を示す図



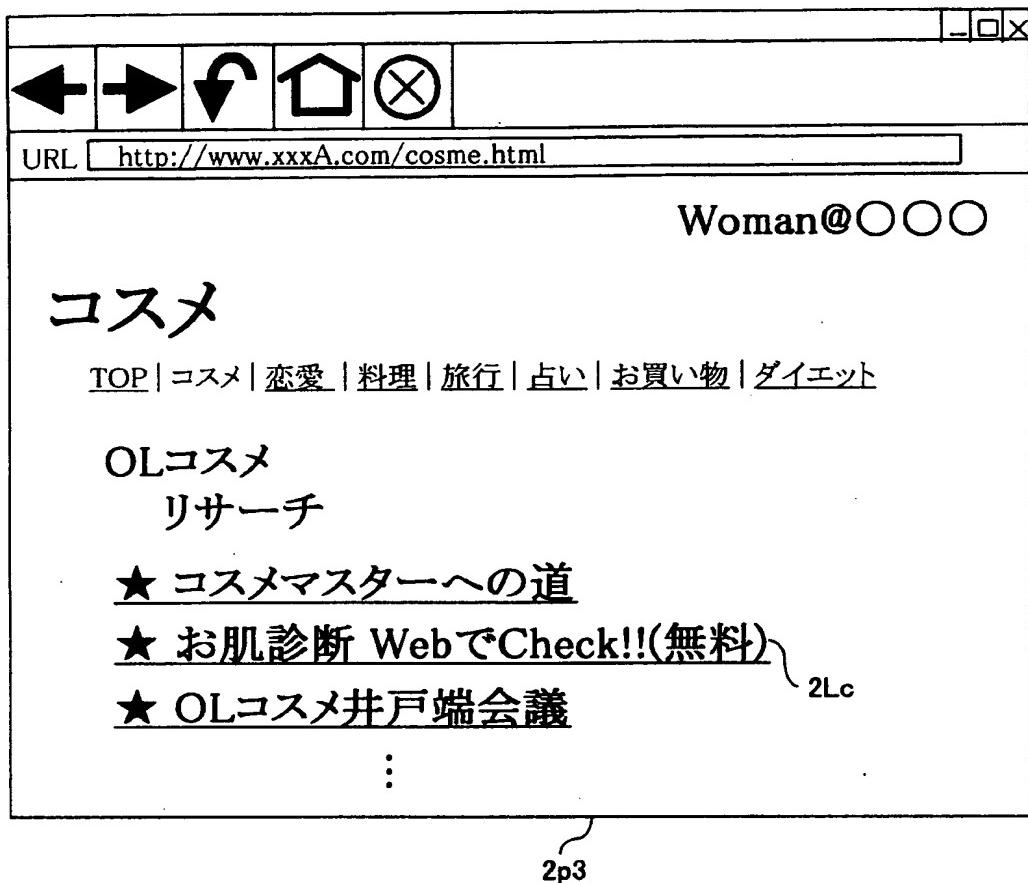
【図5】

簡易肌診断に導くリンクを有するWebページの例を示す図



【図6】

簡易肌診断に導くリンクを有するWebページの例を示す図



【図7】

簡易肌診断のためのWebページの例を示す図

□□×

URL <http://www.xxxA.com/cosmeccheck.html>

ようこそ！あなたのお肌をWebでCheckします。
アンケートにお答え下さい。結果はメールで。

Q1. 平均睡眠時間は？ 6時間以内 7時間 8時間以上 CB4

Q2. お化粧時間は？ 10分以内 30分 1時間以上 CB4

Q3. あなたのお肌は・・・
 XXXタイプ YYYタイプ ZZZタイプ CB4

⋮

Qn. より詳しくCheckする為に以下の項目もお答え下さい。

氏名：(必須) TX4

性別：(必須) TX4

住所: TX4

生年月日: TX4

年齢: (必須) TX4

職業: TX4

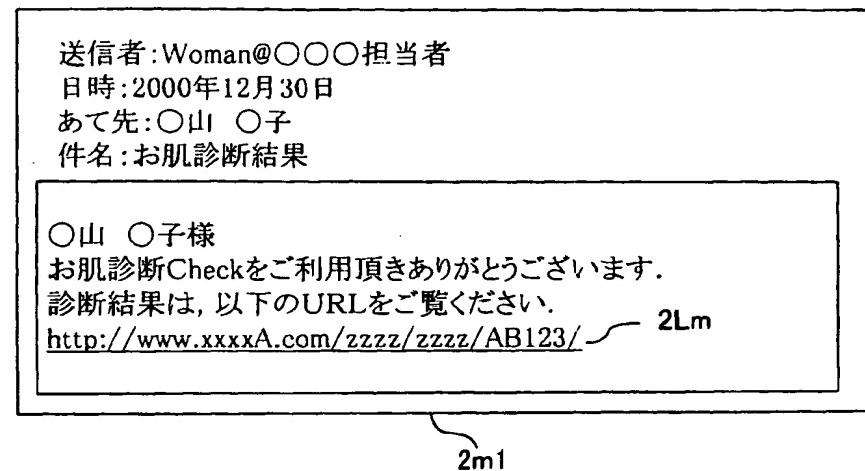
電子メール: (必須) TX4 ARD

TX4 ARD

2p4

【図8】

簡易肌診断の結果に関する電子メールの例を示す図



【図9】

簡易肌診断の結果を示すWebページの例を示す図

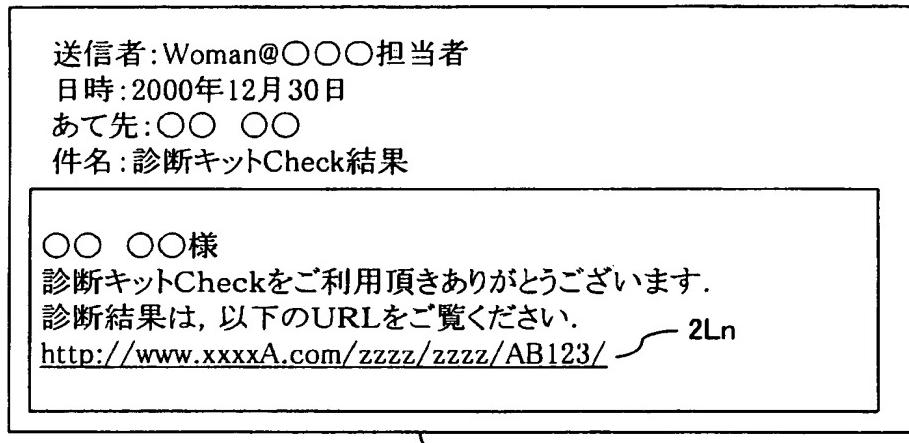
The screenshot shows a web browser window with the following details:

- Toolbar:** Includes icons for back, forward, search, and close.
- URL Bar:** Displays the URL <http://www.xxxxA.com/zzzz/zzzz/AB123/>.
- Content Area:**
 - Greeting: ○山 ○子様
ご利用ありがとうございます。
 - Text: あなたのお肌診断Check結果は,
 - Result Summary (in a box): ○×△□ ○×△□ ○×△□ ○×△□
○×△□ ○×△□ ○×△□ ○×△□
○×△□ ○×△□ ○×△□.
 - Text: さらに、詳しく診断キットでCheckしませんか?
このCheckは有料です。
Check後に、協賛サイトに行けば、PAYBACKサービスが利用できます!
診断キットは郵送するため、正確な住所、氏名をお書き下さい。
 - Text input fields:
 - 氏名: [Input Field] TX5
 - 住所: [Input Field] TX5
 - Buttons:
 - 請求する BN5
 - 請求しない

2p5

【図10】

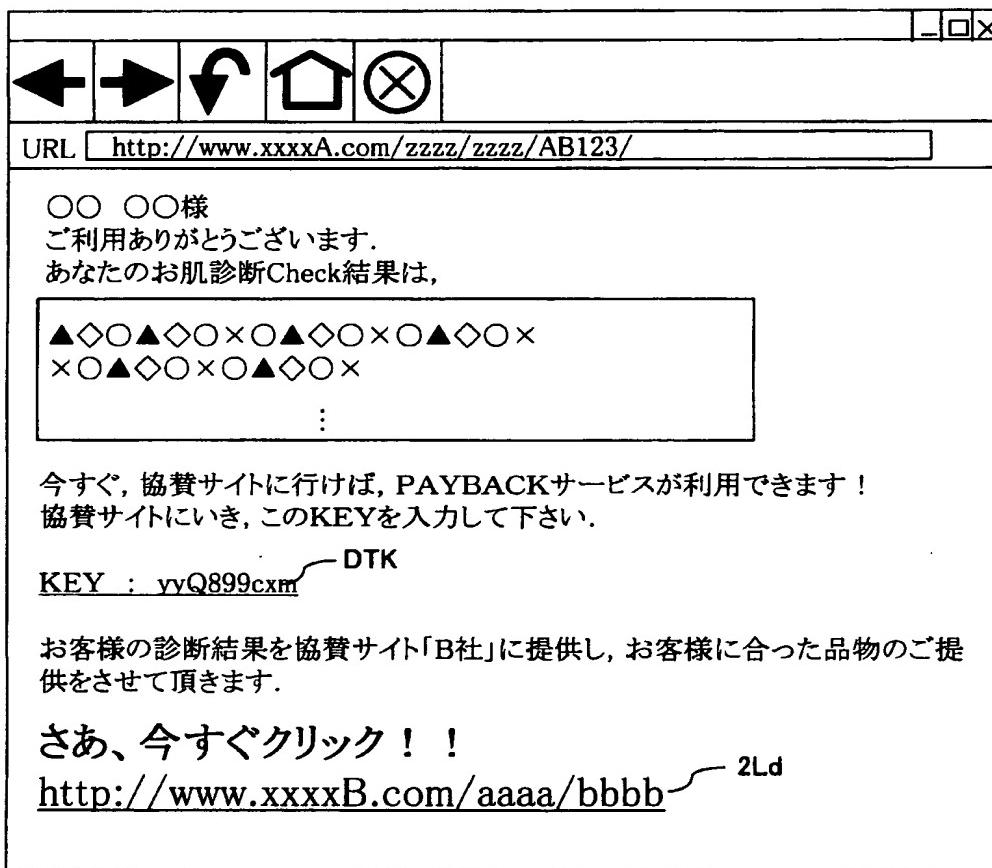
詳細肌診断の結果に関する電子メールの例を示す図



2m2

【図11】

詳細肌診断の結果を示すWebページの例を示す図



2p6

【図12】

識別キーの入力のためのWebページの例を示す図

The screenshot shows a web browser window with the following elements:

- Toolbar icons: back, forward, search, home, and close.
- URL bar: http://www.xxxxB.com/aaaa/bbbb/
- Main content area:
 - Text: 診断キットCheckをご利用ありがとうございます。
お客様の詳しい情報を、ポータルサイトより入手しますので、
KEY入力をお願いします。
KEY入力する事により、PAYBACKサービスや、あなたに
最適な商品の提供ができます！
 - Text input field labeled KEY : with a TX7 label above it.
 - Text input field labeled E-Mail : with a TX7 label above it.
 - Buttons: BN7 (left), ARD (right), 送信 (Send) button, and キャンセル (Cancel) button.

A bracket at the bottom points to the number 2p7.

【図13】

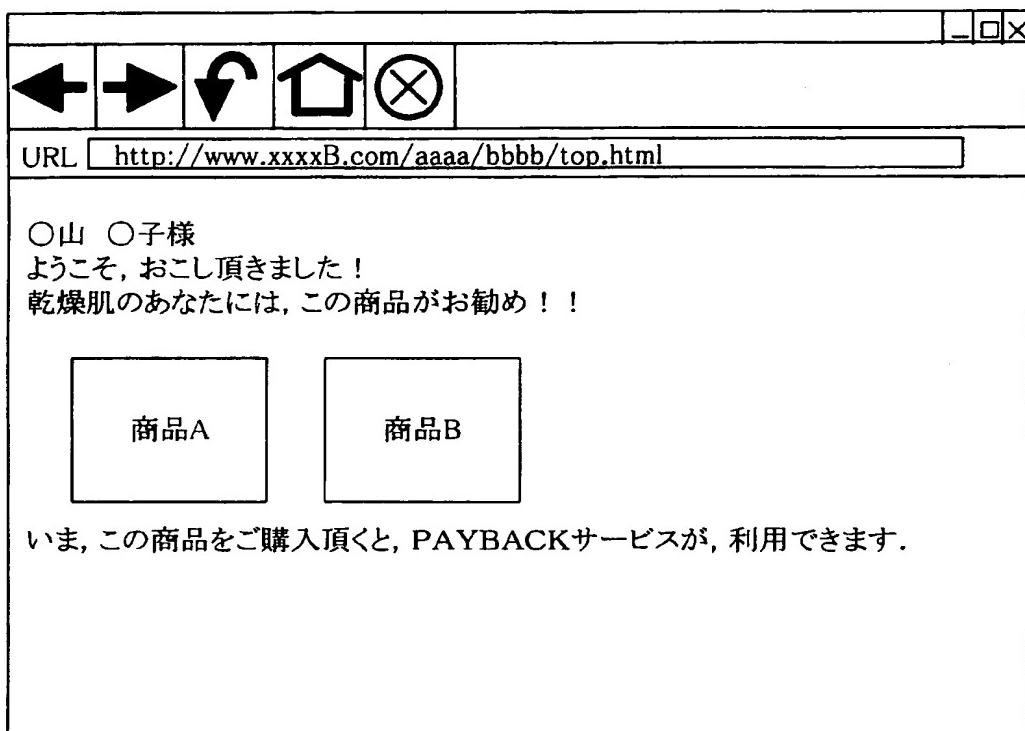
データを転送中である旨を表示するWebページの例を示す図



2p9

【図14】

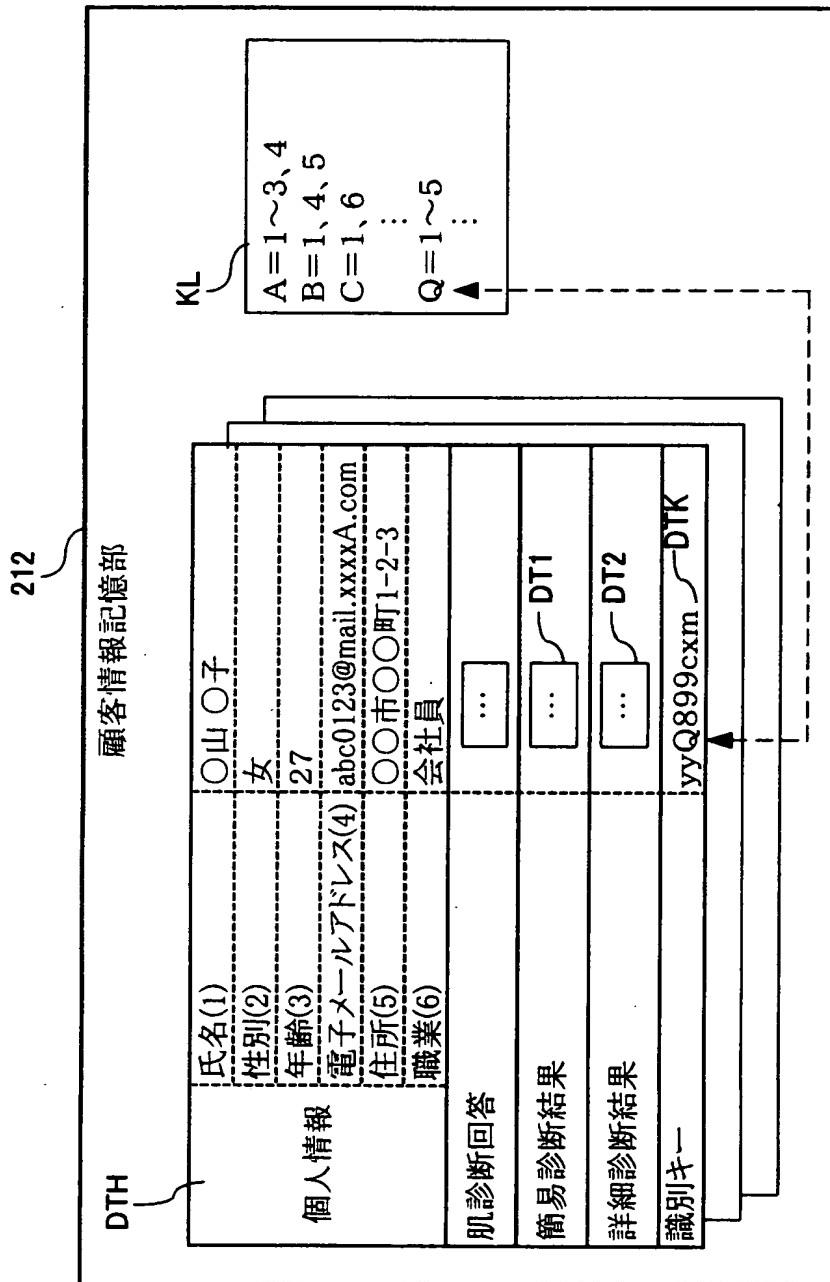
ユーザごとにカスタマイズされたWebページの例を示す図



2p8

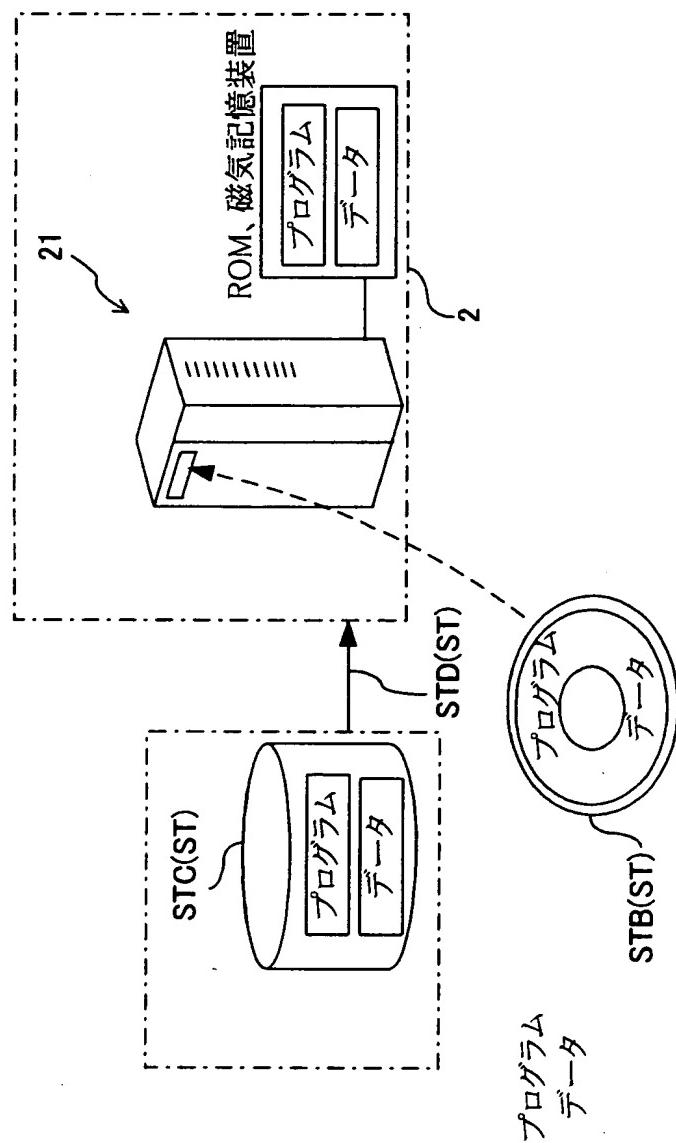
【図15】

顧客データ記憶部を説明する図



【図16】

本発明に係る方法を実行するためのプログラムの記録媒体の形態を示す図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】商品または役務の販売の推進を効率よく行う通信システムを提供する。

【解決手段】情報提供サイト2に、端末装置4のユーザに対して簡易肌診断を行う簡易診断処理部210と、簡易診断データDT1および識別キーDTKをユーザに送信する簡易結果送信部211と、個人データDTHおよび簡易診断データDT1をサービス提供サイト3に送信する顧客データ抽出部216と、を設け、サービス提供サイト3に、ユーザから識別キーDTKを受信する識別キー受信部312と、識別キーDTKを情報提供サイト2に送信する顧客データ要求部313と、識別キーDTKに対応する個人データDTHを受信する顧客データ受信部314と、を設け、顧客データ抽出部216は、顧客データ要求部313が送信した識別キーDTKに対応する個人データDTHを送信する。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社